

## 岩手県企業短期経済観測調査結果（2017年6月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の67社
- 回答率100%（回答数67社、うち製造業27社、非製造業40社）
- 回答期間 5月30日～6月30日

### 1. 業況判断指数（DI）

業況判断指数（全産業）は、前回調査（3月）から改善し、2期振りに「良い」超に転じた（前回▲2→今回6）。

業種別にみると、製造業は、自動車向け電子部品等の需要堅調を背景に、「良い」超幅を拡大（前回8→今回11）。また、非製造業でも、台風等で滞っていた震災関連工事の進捗、店舗リニューアルの奏功、GWの観光客数の持ち直し等から、卸売、不動産、宿泊・飲食サービス等で、判断を改善する先がみられたため、2期振りに「悪い」超から「良い」超に転じた（前回▲7→今回2）。

先行きについては、製造業で、慎重な見方をする先が散見され「悪い」超に転じている（今回11→先行き予測▲7）ほか、非製造業でも、震災復旧復興関連需要減少を背景に、慎重な見方を示す先が見られ「良い」超幅が縮小（今回2→先行き予測0）。この結果、全産業では「悪い」超に転じている（今回6→先行き予測▲3）。

この間、各種判断DI（参考1）をみると、「仕入価格判断DI」で「上昇」超幅が拡大するとともに、「販売価格判断DI」の「下落」超幅が縮小している。また、「雇用人員判断DI」は引き続き高水準の「不足」超となっている。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	16/3月	6月	9月	12月	17/3月	6月	9月 (予測)
<b>製造業</b>	▲4	▲7	0	3	8	11(▲11)	▲7
素材業種	▲11	0	11	22	0	0(▲11)	▲22
加工業種	0	▲11	▲6	▲6	11	17(▲11)	0
<b>非製造業</b>	22	10	5	15	▲7	2(▲5)	0
建設	29	15	15	15	▲8	8(▲21)	▲7
<b>全産業</b>	12	3	3	10	▲2	6(▲7)	▲3

## 2. 売上高・経常利益（2016年度実績、2017年度見通し）

2016年度は、新製品の販売好調、スマホや自動車等の外需の堅調により、電気機械や自動車が増収・増益となる一方、中国等新興国経済の低迷等を背景に鉄鋼、その他製造業が減収・減益となり、製造業は増収・減益となった。また、非製造業では、震災復旧復興関連需要の減少により、建設、卸売を中心に減収となったものの、建設の一部で利益率の高い工事の受注による増益がみられたため、減収・増益となり、全産業でも減収・増益となった。

2017年度は、スマホや自動車用の電子部品等に対する堅調な外需を背景に、製造業では、売上・収益ともにほぼ前年並みとなる見通し。また、非製造業では、震災復旧復興関連需要の減少から建設、卸売を中心に減収・減益となり、全産業でも減収・減益となる見通し。

—— 前年同期比・%、( )内は前回調査比修正率・%

	2016年度(実績)		2017年度(見通し)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	2.3 ( 0.8)	▲10.6 (▲ 1.1)	0.9 ( 0.6)	▲ 5.8 ( 0.8)	8.5 ( 0.3)	2.6 (17.5)	▲63.5 ( 30.4)	利益 ( 7.5)
非製造業	▲ 6.7 ( 1.5)	14.1 ( 24.6)	▲ 5.0 ( 1.2)	▲ 6.1 (▲ 0.8)	▲ 4.0 ( 3.1)	▲26.0 ( 15.5)	▲23.3 ( 6.2)	▲27.4 ( 21.6)
全産業	▲ 3.8 ( 1.3)	5.3 ( 15.4)	▲ 2.4 ( 0.9)	▲ 5.9 (▲ 0.1)	1.1 ( 1.9)	▲14.9 ( 16.4)	▲52.0 ( 18.0)	95.2 ( 15.3)

## 3. 設備投資額（2016年度実績、2017年度計画）

2016年度は、製造業では、効率化投資や能力増強投資がみられたものの、前年を下回った。一方、非製造業では、店舗改装、新規出店等から前年を1割方上回り、全産業でも前年を上回った。

2017年度は、製造業で、維持更新投資に加え、生産用機械、電気機械を中心に能力増強投資の計画が、また、非製造業で、効率化を企図した設備更新投資等の計画がみられ、全産業では前年を1割方上回る計画となっている。

—— 前年同期比・%、( )内は前回調査比修正率・%

	設備投資*			ソフトウェア・研究開発を含む 設備投資（除く土地）	
	2015年度 (実績)	2016年度 (実績)	2017年度 (計画)	2016年度 (実績)	2017年度 (計画)
製造業	▲ 7.2	▲ 3.3 ( 7.5)	20.7 (▲ 0.1)	▲ 9.4 ( 8.2)	23.6 (▲ 0.6)
非製造業	3.3	11.6 ( 10.7)	1.8 ( 3.7)	▲ 7.9 ( 11.3)	31.4 ( 3.2)
全産業	▲ 2.4	5.2 ( 9.4)	11.2 ( 1.6)	▲ 8.6 ( 9.9)	27.0 ( 1.1)

\*土地を含み、ソフトウェア投資、研究開発投資を含まない。

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数の構成比・%ポイント、( ) 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		16/3月	6月	9月	12月	17/3月	6月	9月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	▲ 9	▲15	▲22	▲20	▲17	▲21(▲19)	▲21
製商品在庫	「過大」—「不足」	8	6	8	2	4	10(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	3	10	3	13	21	24(24)	24
販売価格		▲13	▲11	▲15	▲11	▲12	▲3(▲3)	▲9

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	16/3月	6月	9月	12月	17/3月	6月	9月 (予測)
製 造 業	▲15	0	▲ 8	▲ 8	▲ 11	4( 0)	8
非 製 造 業	0	0	0	0	2	0( 0)	▲ 5
全 産 業	▲ 6	0	▲ 3	▲ 3	▲ 3	1( 0)	0

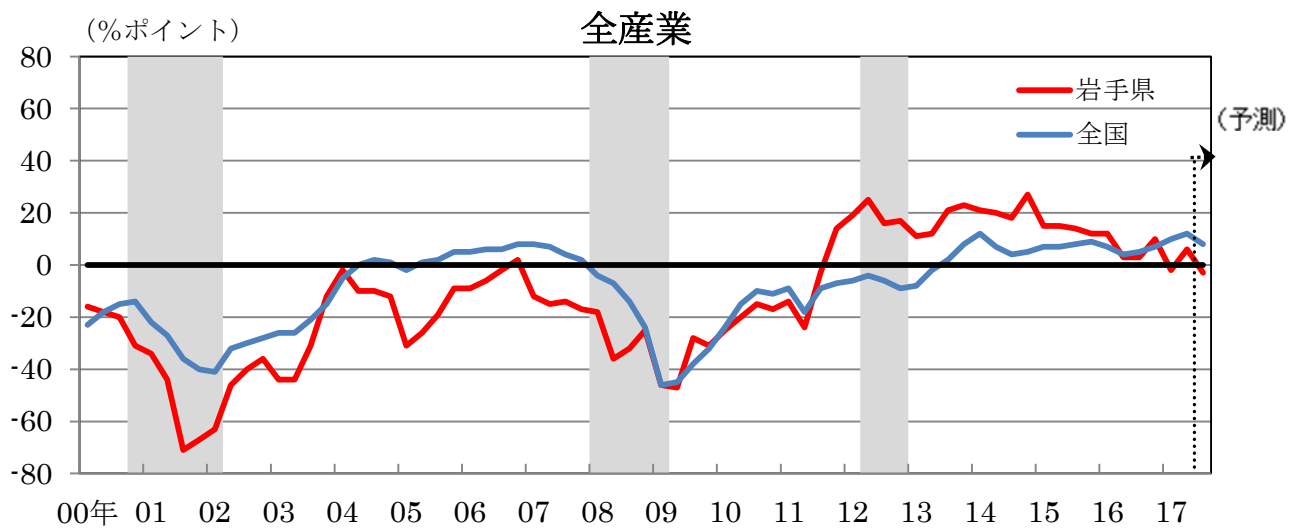
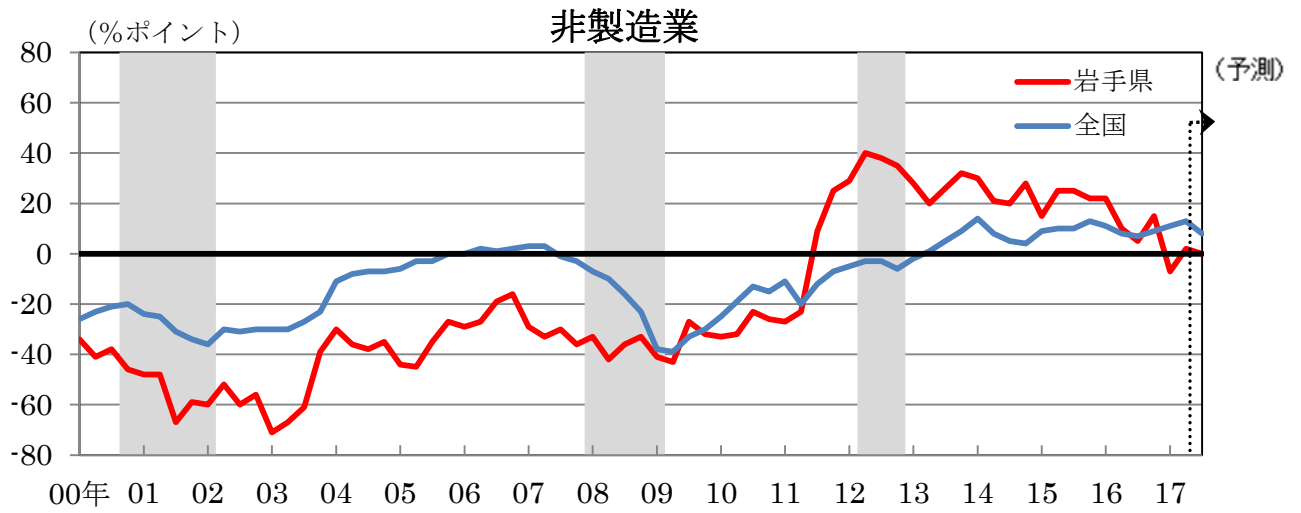
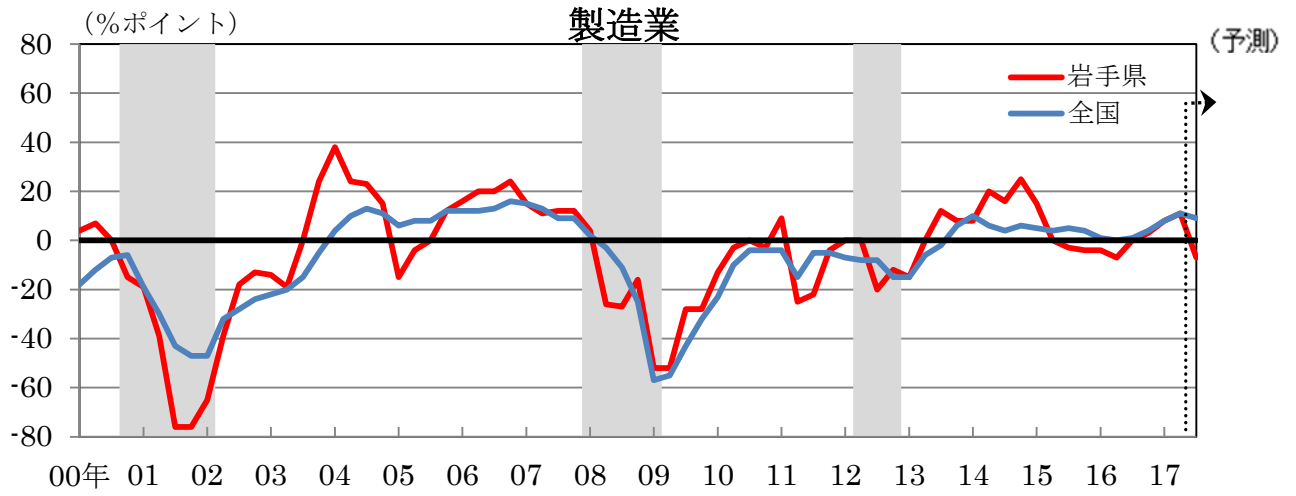
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	16/3月	6月	9月	12月	17/3月	6月	9月 (予測)
製 造 業	▲23	▲29	▲37	▲33	▲33	▲33(▲30)	▲23
非 製 造 業	▲25	▲15	▲25	▲28	▲33	▲25(▲20)	▲22
全 産 業	▲24	▲21	▲30	▲30	▲33	▲28(▲24)	▲23

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		16/3月	6月	9月	12月	17/3月	6月	9月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	12	6	9	8	15	9(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	13	17	15	12	12	14(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	▲14	▲14	▲ 7	▲11	▲13	▲ 6(▲ 2)	3

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

( )内は前回予測

		16/3月	6月	9月	12月	17/3月	6月	9月 (予測)
製造業	全国	1	0	1	4	8	11 ( 5)	9
	東北	▲ 4	▲ 4	0	3	7	6 ( 3)	7
	岩手	▲ 4	▲ 7	0	3	8	11 (▲11)	▲ 7
非製造業	全国	11	8	7	9	11	13 ( 5)	8
	東北	11	8	10	9	8	8 ( 1)	3
	岩手	22	10	5	15	▲ 7	2 (▲ 5)	0
全産業	全国	7	4	5	7	10	12 ( 4)	8
	東北	6	4	6	6	7	7 ( 2)	5
	岩手	12	3	3	10	▲ 2	6 (▲ 7)	▲ 3

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

( )内は前回予測

		16/3月	6月	9月	12月	17/3月	6月	9月 (予測)
全産業	岩手	12	3	3	10	▲ 2	6 (▲ 7)	▲ 3
	青森	6	5	6	3	4	7 (▲ 2)	4
	宮城	5	2	1	▲ 1	8	7 ( 2)	▲ 4
	秋田	▲ 6	▲ 5	▲ 4	▲ 1	2	4 (▲ 4)	5
	山形	2	▲ 2	0	6	6	8 ( 2)	12
	福島	10	10	12	12	13	7 ( 11)	9

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所

TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>